國學院大學学術情報リポジトリ

〈研究会記録〉平成三十年度共存学公開研究会「多文化共存をめぐる伝統と開発：中国と日本の事例から」

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2024-10-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/0002001061

〈研究会記録〉

平成三十年度共存学公開研究会
「多文化共存をめぐる伝統と開発 ―中国と日本の事例から―」

本記録は、平成三十年十月十三日（土）に開催された、平成三十年度共存学公開研究会「多文化共存をめぐる伝統と開発 ―中国と日本の事例から―」における個別報告・コメント・総合討議の内容を基に、加筆・修正を加え、編集したものである。國學院大學研究開発推進センター研究事業「伝統文化・神社・地域と共存社会の研究」の一環として企画されたこの研究会は、中国と日本の事例を通して、伝統文化、観光、地域資源等と共存する社会の現状と課題を検討し、「共存社会の構築」に資する議論を行なうことを目的として開催された。

当日は、奈良雅史氏から、中国の雲南省における観光開発を焦点として、改革・開放以降の回族社会における宗教的、社会的変容により、回族と他民族との関係が変化していく実態についての報告を頂き、続いて山本健太氏から、近年継承者不足によって消滅するものも少なくない神楽舞を焦点として、西日本のいくつかの地域における事例を通して、地方の伝統文化に関する現状と課題についての報告を頂いた。その後、上記報告に対する黒澤直道氏、菅浩二氏からのコメントを頂き、古沢広祐氏の司会による総合討議がおこなわれ、フロアからの意見も含めて、当該テーマについての今後検討すべき課題や論点が提示された。

なお、本記録を掲載するにあたっては、登壇者の皆様からの加筆・修正を頂く等、研究会に加えてのご協力を頂いた。この場をお借りして、当日お越し頂いた講師の皆様、参加者の皆様一人ひとりに、深く御礼申し上げたい。

◇公開研究会記録（所属・肩書は開催当時。敬称略）

平成三十年度共存学公開研究会「多文化共存をめぐる伝統と開発　―中国と日本の事例から―」

主　催　國學院大學研究開発推進センター研究事業「伝統文化・神社・地域と共存社会の研究」

日　時　平成三十年十月十三日（土）十四時～十七時三十分

場　所　國學院大學渋谷キャンパス　ＡＭＣ棟五階　会議室〇六

・個別報告一＝奈良雅史（北海道大学准教授）
「エスニック・ツーリズム開発に伴う民族間関係の変化　―中国雲南省における回族社会の事例から―」

・個別報告二＝山本健太（國學院大學准教授）
「伝統と文化の現代的諸相　―西日本における神楽舞を事例に―」

・コメント一＝黒澤直道（國學院大學教授）

・コメント二＝菅　浩二（國學院大學教授）

・総合討議　　司会＝古沢広祐（國學院大學教授）

※本記録の編集作業は、宮本誉士（研究開発推進センター准教授）、小山田江津子（同センター客員研究員）、佐野和子（同センター臨時雇員）の三名が担当した。